

【避難訓練時の放水体験、煙体験】（2月）

-2-



学校が持っている、ポンプです。まきび学校支援地域本部 安全班 塩田さん(真備地域の消防団長)が事前に来校してくださり、点検と操作方法を教えてくださいました。普段から、いざという時に使えるようにしておくことの大切さを改めて実感しました。

学校の教員が実際に全校児童生徒の前で放水訓練をしました。実際に放水することで、かなりの水圧がかかることを教員自身も体感しました。

訓練当日は、玉島消防署の協力で、教材研究室に訓練用の煙を充満させ、一部の生徒が煙の中を避難する体験もしました。

【生け花教室】（11月・12月・3月）

職業コースの生徒等が『池坊生け花』の先生に3回に渡り、指導していただきました。基本形を教えていただき、その時期の花を使い自分の感性を生かして一人一人が生けました。高等部の卒業式では、生徒たちが生けた花が校内を飾りました。



初めてという人も多く緊張して始まりましたが、どの作品も素晴らしいものになりました。

「こうしたらもっと良くなるよ」と丁寧にアドバイスをしてくださいました。

一人一人テーマをもって、思い思いに生けました。形になってくのが楽しくて、みんな夢中になりました。



福祉に関する取組



【福祉懇談会】（3月）

3学期も、小・中学部と高等部のそれぞれの参観日に、保護者の方に伝えたい内容をテーマに真備地域生活支援センターとの協働で『福祉懇談会（講師の方による講演会）』を行いました。

小・中学部では、「子どもを育てる～先輩ママだから言えること～」と題しての講演でした。特別支援学校を卒業された現在21歳の子どもさんを育ててこられたお母さんの将来を見据えた子育ての具体的な話は、後輩ママさんにとってとても参考になるものでした。高等部では、「ショウガイキソネンキンとはナニ？」と題して、精神保健福祉士の方を講師に迎えての講演でした。全員が申請の対象となることから、非常に関心が高く、講演後もたくさんの質問がでました。

